

実質化された人・農地プラン（内原地区）

市町村名	対象地区（集落）名	作成年月	直近の更新年月日
水戸市	内原 (妻里, 鯉淵, 内原)	平成24年 8 月	令和5年5月1日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積(ha)	1749.1
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者または耕作者の耕作面積の合計(ha)	1188.6
※ 回答率(②/①)	68.0%
③ ①のうち地区内における75歳以上の農業者の耕作面積の合計(ha)	438.0
i ②のうち後継者のいない農業者の耕作面積の合計(ha)	95.1
ii ②のうち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計(ha)	54.0
⑤小計(i + ii)	149.1
④ ②のうち地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計(ha)	198.1
⑥地区内で後継者がいないか不明の推計面積(ha)(⑤/回答率)	219.4
⑦中心経営体による、地区内の後継者がいないか不明の推計面積カバー率(④/⑥)	90.3%

2 対象地区の課題

内原（プラン全域）については、5年後には担い手が不足すると推測される。

担い手への集積・集約にあたって大区画化及び耕作条件の改善を図るための基盤整備が必要とされる地区については、事業の活用に向けた機運醸成を図る必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

地区（集落）名	内原
<p>原則として中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。</p>	

地区（集落）名	妻里
<p>原則として中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進するとともに、若手後継者の発掘のための話合いの開催を検討する。また、比較的狭小な水田が多いエリア等については、再度基盤整備が必要であり、事業の活用に向けた機運醸成のための取組を検討する。</p>	

地区（集落）名	鯉淵
<p>原則として中心経営体である認定農業者及び集落営農組織が中心となった農地利用を図り、必要に応じて入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進する。また、地区内集落営農組織の法人化を推進するとともに、耕作条件が悪く、担い手への集積・集約化に困難が生じているエリアでは、基盤整備が必要であることから、事業の活用に向けた機運醸成のための取組を検討する。</p>	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

<p>市、農業委員会の連携のもと、地域において話合いの中心となる農業者の状況などの把握に努め、土地改良事業実施地区、農業多面的機能の農地維持活動地区、農地中間管理事業モデル地区などのエリアを中心に、各地区の状況に応じ、農地所有者、耕作者、地域住民及び関係機関等による、農地の集積・集約に係る話合いの活性化を図る。</p>
<p>市、農業委員会、中間管理機構等関係機関が連携し、貸し付け意向のある農地が中心経営体へ円滑に配分されるよう、貸し付け意向の情報共有等の体制強化を検討する。</p>